

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	118	1年	前期	看護学科	必修	日本語表現法 Japanese Language Expression	30	1
担当教員								
西村 浩子*	河野 久美子*							
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
対人関係を考慮した日本語の使い方や、自分の意見をわかりやすく伝える文章表現技術が向上する。具体的には、次の通りである。								
1. 自分の考えをわかりやすく論理的に表現することができる。								
2. 相手の立場や状況を考えて、相手に配慮した日本語表現ができる。								
3. 日本語を話すことや書くことを通して、日本語を見直し、意識することができる。								
到達目標（授業目標）								
1. 自分の考えをわかりやすく論理的に表現することができる。								
2. 相手の立場や状況を考えて、相手に配慮した日本語表現ができる。								
3. 日本語を話すことや書くことを通して、日本語を見直し、意識することができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	授業の進め方について：授業の進め方について説明する。コミュニケーションの基礎となる「聴き方」について考える。（西村）							
2回	説明する・発表する①：相手の立場に立った「話し方」を考える①（わかりやすさのポイント）（西村）							
3回	メールを書く：メールで目上の人に連絡・報告する書き方を学ぶ（河野）							
4回	正しい日本語・敬語を使う：尊敬語や謙譲語、またコミュニケーションを円滑にする言葉について考える（河野）							

5回	説明する・発表する②：相手の立場に立った話し方を考える②(課題の発表と振り返り) (西村)
6回	レポートを書く① 内容編：レポートを書く時の注意点を学ぶ① (河野)
7回	レポートを書く② 表現編：レポートを書く時の注意点を学ぶ② (河野)
8回	正しい日本語・敬語を使う②：医療現場におけるコミュニケーションについて考える (河野)
9回	電話をする：電話のマナーと話し方を考える (河野)
10回	メモを取る：自分のメモの取り方を見直し、メモの内容を相手にわかりやすく伝える方法を考える (河野)
11回	手紙を書く：季節や目的に応じた手紙の書き方を知り、手紙の中の敬語の使い方を考える。実際に手紙を書く (河野)
12回	感情をコントロールする：アンガーマネジメントを知る (河野)
13回	日本語表現法を考える①：本の紹介を通して人に気持ちを伝える方法や表現を考える① (ビプリオバトルミニ体験) (西村)
14回	日本語表現法を考える②：本の紹介を通して人に気持ちを伝える方法や表現を考える② (ビプリオバトル本番体験) (河野)
15回	授業の振り返りと要点整理：これまでの学びのポイントを振り返り、日本語表現の要点を整理する
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
筆記試験60% 平常活動 (提出物・授業に取り組む態度等) 40%で評価する。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	野呂幾久子ほか「看護系学生のための日本語表現トレーニング」(三省堂)
参考図書等	授業中に指示する。
授業時間外の学習について (授業準備のための指示)	
事前に指定されたテキストのページを読んでおく。事後には課題の作成を行い、授業にそなえる。	
関連科目	
前科目	
後科目	131 コミュニケーション
実務家教員	
備考	毎回、担当を決めてミニトーク (3分間) を行う。